

● 三重県関係で国の登録有形文化財（建造物）の新登録の答申が行われるものの概要

【 名 称 】 見世土井家住宅主屋（みせどいけじゅうたくしゅおく）	1 棟
見世土井家住宅本蔵（みせどいけじゅうたくほんぐら）	1 棟
見世土井家住宅蔵（みせどいけじゅうたくくら）	1 棟
見世土井家住宅納屋（みせどいけじゅうたくなや）	1 棟
見世土井家住宅米蔵（みせどいけじゅうたくこめぐら）	1 棟
見世土井家住宅外便所（みせどいけじゅうたくそとべんじょ）	1 棟
見世土井家住宅井戸屋形（みせどいけじゅうたくいどやかた）	1 棟
見世土井家住宅正門及び塀（みせどいけじゅうたくせいもんおよびへい）	1 棟
見世土井家住宅北通用門及び土塀 （みせどいけじゅうたくきたつうようもんおよびどべい）	1 棟

【 所在地 】 尾鷲市朝日町

【 年 代 】 主屋：昭和6年、本蔵：江戸末期、蔵・納屋・北通用門及び土塀：大正期、
米蔵・外便所・井戸屋形・正門及び塀：昭和前期

【 建築面積 】 主屋：424㎡、本蔵：59㎡、蔵：34㎡、納屋：26㎡、米蔵：89㎡、
外便所：7.6㎡、井戸屋形：10㎡、
正門及び塀：正門 間口2.9m、塀 総延長12.6m、
北通用門及び土塀：北通用門 間口1.8m、土塀 総延長2.3m

土井家は屋号「見世」をもつ、山林経営や生活用品販売を家業とする旧家です。当時の熊野街道沿いの正門を入ると、木造2階建の主屋があり、その北西に井戸屋形を囲うように本蔵・蔵等が立ち並びます。昭和6年に建てられた主屋は、東側に洋館、西側に和風の居宅をつなげた構成となっています。洋館部分は、細部の意匠にアールデコのデザインを用い、1階・2階の窓にはステンドグラスが取り入れられ、外観のアクセントとなっています。数寄屋風の座敷を並べた居宅部分からは主庭が一望できるようになっています。本蔵や蔵といった付属建物もまとまってよく残り、往時の山林経営家の風情あるたたずまいを残す建物群です。



左：主屋 外観
上：主屋 内観

主屋外観



左：主屋 応接室
上：主屋 御主人室



上：井戸屋形
左：正門及び塀



【名 称】丸岡家住宅主屋（まるおかけじゅうたくしゅおく） 1棟

丸岡家住宅長屋門及び築地塀

（まるおかけじゅうたくながやもんおよびついじべい） 1棟

【所 在 地】伊勢市宮町一丁目

【年 代】慶応2年（1866）

【建築面積】主屋：152㎡、長屋門及び築地塀：67㎡・土塀延長6.7m

全国から訪れる伊勢神宮の参詣客に宿を提供したり、祈祷を行ったりする御師^{おんし}であった丸岡宗大夫の住宅です。街路に面して長屋門と築地塀をめぐらし、その奥に木造平屋建の主屋を構えます。主屋玄関には式台を設け、格調高い趣で客をもてなしました。漆喰塗の長屋門と築地塀も、往時をしのぶ外観となっています。伊勢市内に現存する数少ない御師の住宅として、貴重な建物です。



外観



内部（座敷）

【名 称】小西萬金丹本舗店舗兼主屋 （こにしまんきんたんほんぽてんぽけんしゅおく）	1 棟
小西萬金丹本舗内蔵（こにしまんきんたんほんぽうちぐら）	1 棟
小西萬金丹本舗外蔵（こにしまんきんたんほんぽそとぐら）	1 棟

【所 在 地】伊勢市八日市場町

【年 代】主屋・内蔵：明治前期、外蔵：安永8年（1779）

【建築面積】主屋：144㎡、内蔵：14㎡、外蔵：24㎡

伊勢神宮外宮の門前にある、延宝4年（1676）創業の薬舗です。明治前期に建てられた木造2階建の主屋は、山田の町を代表する町屋で、中廊下に接して「みせ」や「だいどころ」といった居室や階段を配する間取りとなっています。明治期に建てられた伊勢の町屋建築として貴重な建物であり、伊勢神宮外宮門前の景観を構成する建物です。



外観



「みせ」の間